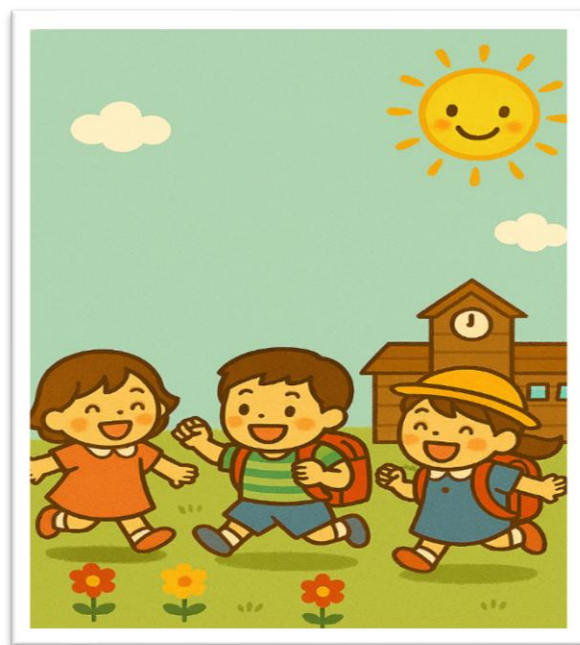


④やさしく 元気に
④まなび 楽しみ
④なかよく 遊んで
④しょうがっこうへ



架け橋期のコーディネーター派遣事業 活用の手引き



令和8年4月

やまなし幼児教育センター

目 次



1 「架け橋期のコーディネーター派遣事業」とは	・・・ 1
2 派遣までの流れ	・・・ 2
3 「架け橋期のコーディネーター」活用モデルプラン	・・・ 3
4 依頼書・記入例（様式1）	・・・ 4
5 実施報告書・記入例（様式2）	・・・ 6
6 「架け橋期のコーディネーター派遣事業」実施要項	・・・ 8

つなげよう
子どもの育ち
子どもの学び



2

架け橋期のコーディネーター派遣までの流れ

1 相談・研修内容を決める

○幼保小の交流・連携や日々の保育・教育の中で困っていることを相談・研修内容として、以下の中から1～2程度に絞ってください。

<相談・研修項目>

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| ① 幼・保等保育施設と小学校との連携・接続 | ② カリキュラムの作成・見直し |
| ③ 子ども理解・子どもの姿の見取り方 | ④ 保育者のかかわり方 |
| ⑤ 環境構成 | ⑥ 保育記録の取り方・活用の仕方 |
| ⑦ 教育・保育の内容 | ⑧ 配慮を必要とする子どもへの支援 |
| ⑨ 指導計画等の構想 | ⑩ その他 |



2 訪問日時、場所・会場を決める

○訪問日時：午前9時から午後4時の間のできるだけ多くの保育者・教職員が参加できる日程を計画してください。

・同一依頼者で、1年に2回まで訪問を希望することができます。その場合は、効果的な訪問時期になるよう1か月～数か月の間隔をあけて計画してください。

○所要時間：1回2時間～6時間で計画してください。(昼食休憩は1時間)

・半日研修(2～3時間)：《例》助言、講義、協議、相談 等

・一日研修(4～6時間)：《例》保育観察・相互参観+振り返り・グループ別協議・助言 等

○会 場：参加者が集まって話ができる研修会場を設定してください。

3 依頼書(P4)を提出する

やまなし幼児教育センターHP からダウンロードもできます。

○派遣依頼書を訪問希望日の3週間前を目安にメールで、ご提出ください。

4 訪問内容について打ち合わせる

園・所の実態や幼保小の連携の状況、参加人数やキャリア、グループ演習等研修会の進行方法についてもお知らせください。

○依頼者の希望に沿ったコーディネーターを派遣できるよう、派遣依頼書に基づいて具体的な相談・研修内容や当日の流れについて、やまなし幼児教育センターの担当者と打ち合わせを行います。

○後日、訪問するコーディネーターと日程が決まり次第、やまなし幼児教育センターから派遣についての通知をメールで送りますのでご確認ください。

5 架け橋期のコーディネーター派遣

○コーディネーターを派遣し、相互参観・保育参観や話し合いを通して共に考えたりアドバイスしたりします。

6 実施報告書(P5)を提出する

やまなし幼児教育センターHP からダウンロードもできます。

○実施報告書をメールで、終了後1週間以内にご提出ください。

○年度末にメールで配信されるアンケートへ回答してください。

1

「架け橋期のコーディネーター派遣事業」とは

「架け橋期」とは、義務教育開始前後の 5 歳児から小学校 1 年生の 2 年間のことです。

山梨県教育委員会が委嘱した架け橋期のコーディネーターが、園・所・小学校・地域協議会等からの依頼に応じて訪問し、研修や協議などを行って幼児教育施設と小学校との交流・連携について一緒に考え、相互理解の中で架け橋期とそれにつながる保育・教育の充実を目指す事業です。



架け橋期のコーディネーターって どんな人？

架け橋期のコーディネーターは、乳幼児期～児童期の保育及び教育、福祉に関する専門的な知見や豊富な経験をもつ山梨大学、山梨県立大学、山梨学院短期大学など、県内大学の教授をはじめとする先生方です。

また、依頼内容によっては「やまなし保育士・保育所支援センター」（県 子育て・次世代サポート課）と連携し、「保育士と保育所のための相談に対する専門家派遣事業」の幼児教育アドバイザーが派遣されることもあります。

架け橋期のコーディネーターの 役割は？



【役割①】 園内研修・校内研修のサポート、市町村・地域協議会などの研修会・研究会での助言
交流・連携の課題や研修・研究テーマについて、一緒に考えたりアドバイスしたりします。

【役割②】 相互参観（保育参観・小学校 1 年生の教育活動参観）とアドバイス
幼保小の教職員が互いに参観し合い、架け橋期の保育・教育や交流・連携について一緒に考えたりアドバイスしたりします。

【役割③】 観点に基づいた保育参観とアドバイス
実際の保育の様子を参観し、テーマに沿ってアドバイスします。



費用や準備は必要？

・費用は県教委が負担するので、依頼した園・所・小学校等の負担はなく、**無料**です。

また、一律に必要な準備等はありませんが、研修会などの訪問内容によっては資料や機器の準備をお願いすることがあります。

「架け橋期のコーディネーター派遣事業」では、令和 6 年度までの「幼児教育アドバイザー訪問事業」で行っていた保育内容や保育環境等に関する相談内容にも引き続き応えていきます。

まずは、やまなし幼児教育センターへご相談ください。

3

架け橋期のコーディネーター活用モデルプラン

Plan 1



実践報告＋講義・研究協議

【訪問のねらい】

地域の幼保と小学校が協働し、育成を目指す資質・能力を視野に入れながら「架け橋期のカリキュラム」の作成に取り組む。

【当日の流れ】

14:00 日程及び内容の確認、実践報告
14:20 話し合い、意見交換
15:30 振り返り・指導・助言
16:00 終了

【講義・協議の内容】

- ・幼保と小学校との交流・連携の取組事例の成果と課題について
- ・子どもの育ちを中心にした、地域で「育てたい子ども像」について
- ・幼保と小学校が共通の視点をもって作成する「架け橋期のカリキュラム」について
- ・今後の地域協議会の内容・計画や保育・教育の充実について

Plan 2



相互参観＋振り返り・研究協議

【訪問のねらい】

幼保小の教職員が育ちや学びの連続性の観点から1年生の活動を参観し、意見交換して保育・教育を具体的に相互理解する。

【当日の流れ】

13:20 日程及び内容の確認
13:30 1年生の授業、帰りの会参観
14:30 意見交換、指導・助言
16:00 終了

【振り返り・意見交換の内容】

- ・幼保での育ちや学びを引き継いだ小学校でのスタートカリキュラムについて
 - ・「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」と授業での子ども達の姿について
 - ・今後の交流・連携活動の内容や計画について
- ※幼保での保育を幼保小の教職員が参観することも同様の内容で実施できます。

Plan 3



保育参観＋振り返り・研究協議

【訪問のねらい】

園児の年齢(発達)に応じた保育者のかかわり方、特に言葉かけや環境構成など保育の基本的事項について確認する。

【当日の流れ】

10:00 日程及び内容の確認
10:15 保育参観(室内・屋外遊び等)
12:00 昼食・休憩
13:00 振り返り・カンファレンス
15:00 終了

【振り返り・意見交換の内容】

- ・子どもの思いや遊びへの意欲を尊重した保育者の関わり方について
- ・子どもの表現する権利を尊重し、その子らしさを生かす保育について
- ・遊びの発展を誘発する環境構成について
- ・写真や動画を活用した保育の振り返りについて
- ・園内研修の進め方や工夫について

やまなし幼児教育センター 宛

電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145

E-mail y-ycenter@pref.yamanashi.lg.jp

※やまなし幼児教育センター記入欄			
受付番号		決定連絡日	
		決定連絡者	

架け橋期のコーディネーター派遣依頼書

1 申請者

園・所 小学校等 設置区分 (○印を付ける)	国公立	施設区分 (○印を付ける)	幼稚園 (幼稚園型認定こども園を含む。)			
			保育所 (保育所型認定こども園を含む。)			
			幼保連携型認定こども園			
			地域型保育事業所			
	私立		認可外保育施設			
			小学校			
			特別支援学校幼稚部			
			行政機関(市町村教委、市町村、教育事務所 等)			
ふりがな				ふりがな		
園・所・小学 校・協議会等 名称				代表者名		
				担当者名		
住所	〒				電話番号	
					E-mail	
研修会場 名称・住所				電話番号		
園児実員	0歳児 () 人	1歳児 () 人	2歳児 () 人	3歳児 () 人	4歳児 () 人	5歳児 () 人
研修参加 者・人数	幼稚園・保育所等教職員 () 人		小学校教員 () 人		1年生の 人数	() 学級 () 人
	行政関係者 () 人		その他 () 人		依頼回数	今年度の依頼 () 回目

2 派遣希望内容

(1) 相談内容等

相談項目	空欄に○を付け、必要事項をご記入ください。	
	<input type="checkbox"/>	① 幼・保等保育施設と小学校との連携・接続
	<input type="checkbox"/>	② カリキュラムの作成・見直し
	<input type="checkbox"/>	③ 子ども理解・子どもの姿の見取り方
	<input type="checkbox"/>	④ 保育者の関わり方
	<input type="checkbox"/>	⑤ 環境構成
	<input type="checkbox"/>	⑥ 保育記録の取り方・活用の仕方
	<input type="checkbox"/>	⑦ 教育・保育の内容
	<input type="checkbox"/>	⑧ 配慮を必要とする子どもへの支援
	<input type="checkbox"/>	⑨ 指導計画等の構想
	<input type="checkbox"/>	⑩ その他 ()
★上記の○の項目について、自園の実態や連携・接続の状況を踏まえて内容を詳しくご記入ください。		★希望する当日の流れをご記入ください。
	時間	内容 (打合せ・相互参観・保育参観・振り返り等)

(2) 希望日時

第1希望	月 日 ()	第2希望	月 日 ()	第3希望	月 日 ()
	時 分 ~ 時 分		時 分 ~ 時 分		時 分 ~ 時 分

注 ・祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後4時の間において、希望の日時で調整します。
 ・当日の打合せや振り返り、個別の相談等を希望する場合は、その時間を含めて記入してください。
 ・終了後、実施報告書(様式2)を1週間以内にご提出ください。

やまなし幼児教育センター 宛
電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145
E-mail y-ycenter@pref.yamanashi.lg.jp

Table with 2 columns: 受付番号, 決定連絡日. Includes a note: ※やまなし幼児教育センター記入欄

架け橋期のコーディネーター派遣依頼書 センターで記入します。

1 申請者

Main application form with sections for facility type (幼稚園, 保育所, etc.), contact info, address, and staff details.

2 派遣希望内容

(1) 相談内容等

Consultation content form with a checklist of topics and a table for the visit schedule.

(2) 希望日時

Form for specifying the desired date and time for the visit.

注・祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後4時の間において、希望の日時で調整します。



やまなし幼児教育センター 宛

電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145
E-mail y-ycenter@pref.yamanashi.lg.jp

架け橋期のコーディネーター派遣事業実施報告書

架け橋期のコーディネーターの派遣につきまして、終了したことを報告します。

園・所 小学校等 設置区分 (Oを付ける)	国公立	施設区分 (Oを付ける)	幼稚園 (幼稚園型認定こども園を含む。)	
			保育所 (保育所型認定こども園を含む。)	
			幼保連携型認定こども園	
	私立		地域型保育事業所	
			認可外保育施設	
			小学校	
			特別支援学校幼稚部	
			行政機関(市町村教委、市町村、教育事務所 等)	
ふりがな	ふりがな			
園・所 小学校等名	代表者名			
	担当者名			
住所	〒	電話番号		
		E-mail		
参加者	園・所長・校長等 (管理職) () 人		計	
	幼保 保育士等 () 人	小学校教員等 () 人		
	その他・行政職員等 () 人			人

派遣内容

(1) 相談内容等

日時	令和 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
講師	
相談項目	①幼・保等保育施設と小学校との連携・接続
	②カリキュラムの作成・見直し
	③子ども理解・子どもの姿の見取り方
	④保育者の関わり方
	⑤環境構成
	⑥保育記録の取り方・活用の仕方
	⑦教育・保育の内容
	⑧配慮を必要とする子どもへの支援
	⑨指導計画等の構想
	⑩その他 ()
★指導・助言等の内容を簡単にお書きください。	

(2) 感想等

感想	
その他	<今後の希望等がありましたらお書きください。>

やまなし幼児教育センター 宛
電話 055-220-8143 Fax 055-220-8145
E-mail y-ycenter@pref.yamanashi.lg.jp

架け橋期のコーディネーター派遣事業実施報告書

架け橋期のコーディネーターの派遣につきまして、終了したことを報告します。

Table with 4 main columns: 園・所/施設区分, ふりがな, 住所, 参加者. Includes details like 認定こども園, 代表者名, 電話番号, and total participants (13).

派遣内容

(1) 相談内容等

Table for consultation content including date, instructor (OO大学教授), consultation items (1-10), and a note to write simply.

(2) 感想等

Table for感想 (Reflections) and other comments, including a request to write simply about the dispatch experience.

令和8年度架け橋期のコーディネーター派遣事業 実施要項

1 目的

幼児期及び幼保小接続期の教育・保育の質の向上を図るため、幼稚園・保育所・認定こども園等（以下、「園・所等」という。）及び小学校、地域協議会等からの要請に応じて、架け橋期のコーディネーターを派遣し、助言・支援・連携調整等を行う。

2 架け橋期のコーディネーター

架け橋期のコーディネーターは、専門的な知見や豊富な実践経験を有する者で、山梨県教育委員会が架け橋期のコーディネーターとして依頼した者とする。

3 派遣対象 県内の園・所、小学校、地域協議会 等

4 派遣内容

幼児期及び幼保小接続期の教育・保育の充実を図るため、架け橋期のコーディネーターを園・所、小学校、地域協議会等へ派遣し、教育・保育内容や指導方法等について助言・支援する。また、架け橋期のカリキュラムの作成・活用等への支援、幼児教育施設と小学校との連携調整等を行う。

5 実施期間 令和8年4月～令和9年3月

6 派遣時間

祝日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後4時の間において、希望の日時で調整する。一年間に2回まで派遣を依頼することができる。

7 派遣者 架け橋期のコーディネーター

※やまなし幼児教育センター指導主事等が同行する場合もある。

8 実施方法

- (1) 架け橋期のコーディネーターの派遣を希望する園・所、小学校、地域協議会等は、派遣依頼書（様式1）を作成し、希望日の3週間前を目安にやまなし幼児教育センターに提出する。
- (2) やまなし幼児教育センターは、内容や日程等を確認し、派遣する架け橋期のコーディネーターを決定する。
- (3) 園・所、小学校、地域協議会等は、やまなし幼児教育センターを通して、当日の内容等詳細を架け橋期のコーディネーターと情報共有する。
- (4) 園・所、小学校、地域協議会等は、終了後1週間以内に実施報告書（様式2）をやまなし幼児教育センターに提出する。
- (5) 園・所、小学校、地域協議会等は、年度末に実施するアンケートに回答する。
- (6) 各コーディネーターがその役割や本事業への認識を共有するため、「架け橋期のコーディネーター連絡会議」を開催する。

9 経費

派遣に係る旅費・謝金は、山梨県教育委員会が負担する。

また、連絡会議への出席に係る旅費は、山梨県教育委員会が負担する。

10 その他

- (1) 後日、派遣について聴取等を行うことがある。
- (2) 本事業を通して知り得た内容は、原則として公表しない。
ただし、幼児教育・保育の質の向上に役立つ情報は、個人が特定できる内容を除き、該当園・所等の承諾を得た上で、公表する場合がある。



やまなし幼児教育センター

〒400-8510

甲府市武田4-4-37(山梨大学J号館内)

TEL:055-220-8143

FAX:055-220-8145

E-mail:y-ycenter@pref.yamanashi.lg.jp

